

## 日経平均株価

3万3585円20銭

▲160円79銭(前日比)

## TOPIX

2391.05

▲22.43(前日比)

2023

11/20

月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



# いよいよXマス商戦に突入

## 経済活動正常化で久々に盛上がる



### 今年のXマス商戦は盛り上がる？

今年も11月下旬に入り名実ともにクリスマス商戦がスタートした。昨年までの数年間はコロナ禍の影響で自粛ムードが蔓延していたが、今年は経済活動が正常化する中で、1年でも最も盛り上がる商戦として改めて関心が高まっている。米国はもとより、国内でも年末年始の正月商戦へ向けて例年以上にクリスマスイベントを強化する動きにあり、人気商品を扱う企業や小売りセクター、インバウンドに絡む企業を含めて年末消費に関連する銘柄は個別で注目してきた。

### 任天堂やOLCなどに注目

米国では、サンクスギビング(感謝祭)である11月第4木曜日の翌日の金曜日がブラックフライデーと言われ、ここから名実ともにクリスマス商戦に突入、伝統的にこの時期から、スーパーや百貨店、ショッピングモールなどで大々的にセールを行う。ブラックフライデーは日本では定着していないが、この時期にテーマパークがクリスマスイベントを始めることに軌を一にして商戦が盛り上がりを見せてくる。クリスマスまでの人気が商品と言え、任天堂(7974)は増加も期待される。オリエンタル

今年も11月下旬に入り名実ともにクリスマス商戦がスタートした。昨年までの数年間はコロナ禍の影響で自粛ムードが蔓延していたが、今年は経済活動が正常化する中で、1年でも最も盛り上がる商戦として改めて関心が高まっている。米国はもとより、国内でも年末年始の正月商戦へ向けて例年以上にクリスマスイベントを強化する動きにあり、人気商品を扱う企業や小売りセクター、インバウンドに絡む企業を含めて年末消費に関連する銘柄は個別で注目してきた。



(4661)が運営する東京デイズニールランド・シーのクリスマスイベントには多くの来場者が期待される。高島屋(8233)、J.フロントリテイリング(3086)、三越伊勢丹ホールディングス(3099)などの百貨店や帝国ホテル(9708)、ロイヤルホテル(9713)、ワシントンホテル(4691)などのホテル関連も注目しておきたい。

11月第2週の動意銘柄

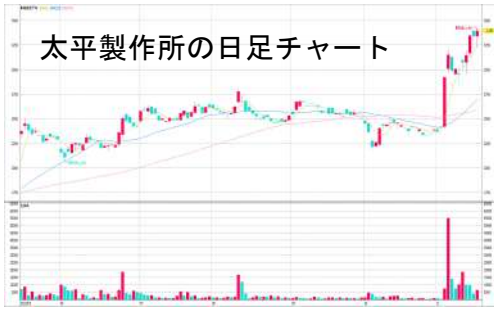
太平製作ストップ高

今3月期上方修正で増配

連休明け6日、太平製作所(6342)がストップ高。24年3月期の業績予想について、連結売上高で74億5600万円から89億8000万円(前期比39.5%増)へ、営業利益で11億7700万円から16億4800万円(同2.2倍)へ上方修正、年間配当を80円から130円(前期80円)へ引き上げた。受注案件の進捗見直しを反映した。

川崎汽船追加還元なく失望

川崎汽船(9107)が急反落。24年3月期第2四半期累計の連結決算は、経常利益852億8000万円(前年同期比85.0%減)と従来予想を据え置いた。決算はサプライズに乏しく、年間配当200円継続で、追加還元がなかったことが失望された。



メイコー大幅続伸し新値

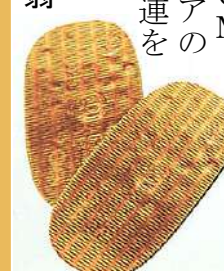
7日、メイコー(6787)が大幅に5日続伸、年初来高値を更新した。24年3月期の業績予想について、連結売上高で1650億円から17340億円(前期比3.4%)増へ、営業利益で90億円から100億円(同4.4%)増

へ上方修正した。外貨建資産や負債の評価の影響で為替差益を計上している。味の素(2802)が急反落。24年3月期第2四半期累計の連結事業利益は765億5600万円(前年同期比3.0%)増と増益ながら市場予想に届かず、成長事業のヘルスケアの不振がネガティブ視された。電子材

料などフアンクショナルマテリアルズや医薬用・食品用アミノ酸の販売が減少、事業利益は4割近い大幅減益になった。英和急伸し最高値(9857)が急伸、上場来高値を更新した。24年3月期第2四半期累計の連結経常利益は9億4500万円(前年同期比94.8%)増と計画を上回った。通期計画の23億2

エフテック下方修正(7212)がストップ安。24年3月期

の業績予想について、連結売上高で2870億円から2940億円(前期比12.6%増)、営業利益で56億円から37億円(同81.5%増)へ下方修正した。米国の労務コスト上昇や生産効率低下などが利益を圧迫。



TOA(6809)が急反発。24年3月期の業績予想を連結売上高で480億円から490億円(前期比8.6%増)へ、営業利益で25億円から28億円(同63.4%増)へ上方修正した。工場や病院、交通市場向けが好調。(11月6日号7面決算記事参照)

正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は大幅に3週続伸しました。日経平均は前の週から1017円上昇し、6月に付けた年初来高値を射程にとらえています。週明け13日と翌14日は上昇ながら戻り売りや利益確定売りに上米10月消費者物価指数(CPI)が予想を下下したことを超える急騰、一気に3万3000円台後半上昇トレンド。米ハイテク株高を受け、半導体関連が全般を日経平均は3上昇、今週は2値動きのいい銘柄を個別に物色する

動きたい銘柄を個別に物色する

# マツダが3連騰

## 北米台数増で大幅増額

マツダ 8日、  
（726  
1）が3  
連騰。同  
24年3  
月期の業  
績予想に  
ついて、  
連結売上  
高で4兆  
5000  
億円から

4兆8000億  
（前期比25・4%  
増）、営業利益で1  
800億円から25  
00億円（同76・  
1%増）へ大幅に上  
方修正した。北米市  
場を中心とした出荷  
台数の増加や販売単  
価の改善などが寄与



公開価格12%上回る

ダイワサイクルの初値  
DAIWA CYC  
LE（5888）が東  
証グロース市場に新  
規上場、公開価格1

## TOWAは2Q計画超過

9日、TOWA（6  
315）が急反発、  
最高値を更新した。  
24年3月期の第2  
四半期累計決算は、  
連結営業利益で18  
億5000万円に対  
して23億8800  
万円（前年同期比5  
9・3%減）と計画  
超で着地した。高付  
加価値製品の増加に  
ともない粗利益率が  
改善した。

## フジクラ下方修正

フジクラ（580  
3）が継続急落。24  
年3月期の業績予想  
について、連結営業  
利益で600億円か  
ら540億円（前期  
比23・0%減）へ  
下方修正した。情報

610円を11・8  
%上回る1800円  
で初値が生まれた。  
自転車と自転車パー  
ツ・アクセサリな  
どの商品販売、自転  
車の整備と修理サー  
ビスの提供を行う。

## ローランド上振れ期待

ローランド（79  
44）がストップ高  
で年初来高値を更新  
した。23年12月  
期第3四半期累計の  
連結営業利益は77  
億4400万円（前  
年同期比23・1%  
増）で着地、直近3  
カ月の7〜9月期で  
は34億8800万  
円（同2・2倍）と  
急拡大しており、上  
振れを期待された。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

# 松井証券の一日信用取引

手数料 0円 金利・貸株料 0~1.8%

取引  
コスト

プレミアム  
空売り

独自  
サービス

最短3分でお申込み完了!

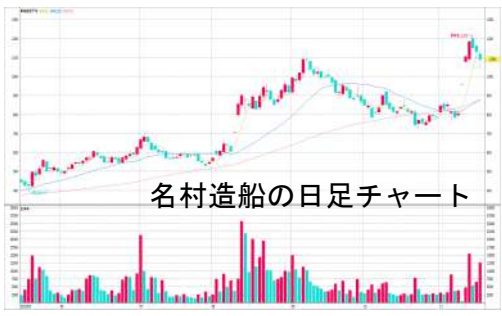
【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのバナーをクリック

# 名村造船ストップ高

## 24年3月期大幅上方修正

週末10日、名村造船所(7014)がストップ高。24年3月期の業績予想について、連結売上高で1260億円から1350億円(前期比8・8%増)へ、営業利益で60億円から140億円(同45・9%増)へ大幅に上方修正した好感された。未ヘツジ外貨の為替レート1米ドル当り130円を第3四半期以降は140円で見直したこと、資機材価格



### ソフトバンクG赤字拡大

ソフトバンクグループ(9984)が大幅反落。24年3月期第2四半期累計の連結決算は、最終損益1兆4087億2700万円の最終赤字で着地、直近3

### トレンド特別配当目標

トレンドマイクロ(4704)がストップ高。株主還元に関する方針を発表、23年12月期の期末配当において、通常の普通配当金(配

## 住ゴム3連騰で新値

週明け13日、住友ゴム工業(5110)が3連騰で年初来高値を更新した。10日の取引終了後、23年12月期の業績予想について、連結売上収益で11870億円から118

## 11月第3週の動意銘柄

0億円(前期比7・4%増)へ、営業利益で500億円から630億円(同2・9倍)へ大幅に上方修正したことが好感された。半導体不足による自動車メーカーの減産基調が緩和傾向にあることや、円安効果も寄与、期末配当を35円から40円(前年同期1

5円)へ引き上げた。資生堂減額でストップ安 資生堂(4911)がストップ安。24年3月期の業績予想について、連結売上高で1兆円から9800億円(前期比58・8%増)、コア営業利益で600億円から350億円(同28・6%減)

ラベルリテール事業、中国事業で規制強化、旅行者を中心としたビジネスモデルへの回帰・市場正常化の流れを受けた流通在庫調整のほか、中国における景況感の悪化やALPS処理水の海洋放出後の日本製品買い控えによる影響が出ている。

ゼンショー上方修正 ゼンショーホールディングス(7550)が大幅に3日続伸。24年3月期の業績予想について、連結売上高で8984億6600万円から9600億円(前期比23・1%増)へ、営業利益で400億9000万円から510億円(同2・3倍)へ上方修正した。積極的な新商品開発とフェア開催などですき家、はま寿司、レストラン、ファストフードが好調に推移。

## 年初来高値を伺う展開

先週14日に発表された米10月消費者物価指数が市場予想を下回り、利上げ打ち止め観測が浮上しました。米長期債利回りが急低下したことでNYダウは3万5000ドル台を回復する場面がありました。東京株式市場はNY市場に連れ高し、日経平均株価は年初来高値(3万3772円)が視界に入ってきました。

決算発表が一巡し、日経平均のEPSは2250円まで上昇。株価上昇もPERは14・85倍と割高感はありません。海外投資家が先物市場で買いの手を伸ばしてきており、今年の春先の動きに酷似しています。今後、現物市場へも手を伸ばす可能性が高く、PER15・5倍の3万5000円近辺を目指すものと思われます。

理想は次の変化日となる今週24日に向けて押し目形成で買い場を作り、その後、騰勢を強めてクリスマスラリーに向かうことです。



日々勇太朗

## 転ばぬ先のテクニカル

日本精線 (5659)

# 独自製品でSDGsへ貢献

## 太陽光発電パネル向け極細線好調

(NASc1e an) に対する需要が調整局面となった影響が

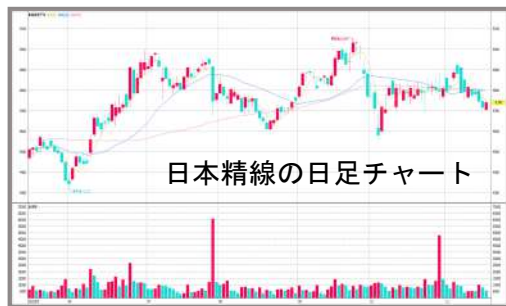
### 世界の潮流に対応

日本精線 (5659) はステンレス鋼線のトップメーカーで、ナスロン (金属繊維) などの高機能製品や高合金ワイヤなどの独自製品を供給している。

24年3月期の第2四半期累計 (4~9月) 決算は連結売上高で217億5500万円 (前年同期比12.0%減)、営業利益で16億2500万円 (同16.3%減)、純利益で12億2100万円 (同13.7%減) となった。ステンレス鋼線においては自動車用途や建材用途の荷動き鈍化による流通在庫の調整が長期化しているが、太陽光発電パネルの製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線は、顧客の細径化ニーズに応える高付加価値製品として好調な受注を確保。金属繊維においては、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター

出ている。

通期は売上高で437億円 (前期比10.9%減)、営業利益で30億円 (同28.2%減)、純利益で21億7000万円 (同29.7%減) を見込む。気候変動対策やサステナブル社会を追求する世界の潮流が強まる中で、太陽光パネル製造で必要となる極細線やIT社会を支える半導体の製造装置に組み込まれる超精密ガスフィルター (NASc1e an) など高機能・独自製品の拡販を通じてSDGsへ貢献していく。



日本精線の日足チャート

### 特選銘柄



日本マイクロの日足チャート

29円 (前期59円) へ引き上げた。プロ

## 日本マイクロがS高

### プローブカード需要増で上方修正

14日、日本マイクロは、メモリ向けプローブカードの需要が想定以上に増加した。

40億8200万円 (前年同12.0%減) の赤字 (黒字) を上

費用増、バスケットの増、効果も表面化して

## INFORICHS高

メドピア (609) が急落、年初来5) が更新した。2

タツモ (626) がストップ高。6) がストップ高。

### メドピア2ケタ減益

### タツモ74%営業増益

14日、日本マイクロは、メモリ向けプローブカードの需要が想定以上に増加した。

ストの発生を含めた構造改革費用を見込んでいる。

# ～決算情報～

## グルメ杵屋

### 中期計画でV字型回復へ 24年3月期売上高400億円を目指す

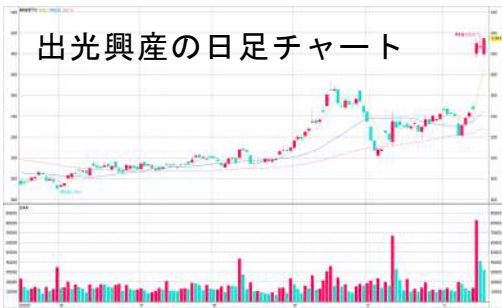
グルメ杵屋（9850）は26年3月期を最終目標とする中期経営計画を発表した。22年4月1日に策定した新しいグループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、新しい付加価値を提供する持続可能な企業として、重点戦略、数値目標を定め、達成に向けて注力。重点戦略としてグループ一丸となって事業収益のV字回復を果たすため、戦略構築と実行を徹底し、企業風土の変革を希求。業績回復の主要な施策として、レストラン事業では、利益が見込める新規出店・既存業態のリブランディングに投資を集中し、「そじ坊」「杵屋」に次ぐ、第3、第4の事業の柱となる業態・ブランドの育成を図り、26年3月期に連結売上高400億円（24年3月期364億6600万円予想）を目指す。

## 立花エレテック

### 2Q過去最高で通期増額 FA機器好調で中長期計画見直しも

立花エレテック（8159）は23年3月期の第2四半期累計（4～9月）決算は、連結売上高で1148億1100万円（前年同期比4.3%増）、営業利益57億7500万円（同20.3%増）と第2四半期累計での過去最高業績を達成し、通期予想を従来予想の2230億円から2260億円（前期比0.6%減）へ、営業利益で95億円から104億円（同0.8%増）へ上方修正した。

FA機器では半導体製造装置関連や物流関連の設備投資案件などが好調に推移。通期について1ドル135円を想定しており、現状の円安推移なら再度の上ブレの可能性も。布山尚伸社長は「26年3月期に売上高2200億円を目指す中長期経営計画を今期末の決算を確認した上で見直す」意向を示唆した。



15日、出光興産（5019）が大幅に5日連続予想24年3月期業績予想に比べて、連結営業利益で14億円から前期10億円（前期比15%増）へ上方修正した。原油価格の前提を10月以降85ドル（前回は80ドル）、ドル相場を140円（同130円）へ直したことで、石油製品などの在庫影響による利益が450億円（前回予想450億円）

**出光大幅に5日続伸**  
原油価格前提見直し増額

**GEIは住友林と提携**  
提携を進行して資本金の増大を図る。住友林業（911）との間で、木質バイオマス原料としたバイオ燃料事業の推進と発表。木質バイオマス向け化学製品の開発に着手。木材の研究開発に力を入れる。

**マイクロアド2桁減益**  
マイクロアド（9553）がストッパー。23年9月期の連結営業利益は8億3300万円（前期比32.9%増）

**JEHの初値**  
Jewelry Japan Holdings（5889）が東証スタンダード市場に新規上場、公開価格1360円を6.5%下回る1271円。デザイン・製造・卸と販売を行う。

と大幅増益ながら従来予想の9億4000万円を下回り、24年9月期は7億4200万円（前期比10.9%減）と2桁減益を見込んだ。データプロダクトの成長が続くが、美容サロン向け新サービスに伴う設備投資や一部パートナーとの契約更改が収益を圧迫する。

# ～決算情報～

## クボタ

### 今12月期利益予想を増額

#### 国内は農機、建機増え海外も伸びる

クボタ（6326）の23年12月期の第3四半期累計（1月～9月）決算は、連結売上高で2兆2582億3100万円（前年同期比15.7%増）、営業利益2588億5700万円（同43.8%増）となった。国内では主に農業機械と建設機械が増加、北米では建設機械の販売が住宅建設や政府のインフラ開発需要により増加したほか、トラクタも在庫充足が進み、特に草刈機の販売が増加。欧州では建設機械が公共工事需要に支えられ堅調に推移したほか、トラクタも販売が増加し、インドは畑作市場が堅調に推移している。

通期は売上高2兆9500億円（前期比10.3%増）は据え置いたが、営業利益では2850億円から2950億円（同37.6%増）へ上方修正した。

## 英和

### 2Q2ケタ増収で営業益倍増

#### 自動化、高度化投資や更新需要も堅調

英和（9857）の24年3月期の第2四半期累計（4月～9月）は連結売上高で191億9000万円（前年同期比10.3%増）、営業利益8億9300万円（同98.2%増）と大幅な増収増益で着地した。販売については商品の長納期化が改善傾向にあり、積み上がった受注残を着実に売り上げへ転化したことに加え、生産性向上を目的にデジタル技術を活用した生産設備の自動化や高度化につながる投資があった他、老朽化した設備の更新需要が堅調に推移したことにより、産業用装置・重電設備業界、製造用機械・電気機器業界、造船業界、鉄鋼業界向けが増加した。

通期については売上高で420億円（前期比1.7%増）、営業利益で22億5000万円（同18.8%増）を見込んでいる。



## リクルートHD続急伸

米投資ファンド大量保有で思惑  
16日、リクルートホールディングスの株価は前日比16.6%上昇し、1株1800円を突破した。これは、米投資ファンドの大量保有による思惑が反映されたものと見られる。リクルートホールディングスは、人材サービスを提供する企業で、業績が好調なことから、投資家の注目を集めている。

トやメデイカルサポートで新規顧客獲得競争が激化している。D2Cの展開を進め、顧客との接点を増やしている。また、デジタルマーケティングの活用により、営業効率を向上させている。2023年9月の連結営業利益は前年同月比76.2%増の6600万円と大幅な増益を見込んでいる。D2Cの展開が業績に貢献していることが明らかになった。

週末17日、ペルセウスプロテオミクス（4882）がストップ高。ホームペー上で公開された24年3月期第2四半期決算説明会で開発中のAPMX-T03のAGレッシュ（ANK細胞白血病（ANKL）の医師主導治験について新たにNK患者2名への投与完了が公表されたことで早期の認可期待が高まった。

フルヤ金募と売出し  
26）が続急落。東証スタンダードからプライム市場への市場変更を発表したが、同時に公募増資とオバーアロットメントによる売り出しを実施すると発表した。

争の激化の様相が続くとされている。  
TOWA4連騰最高値  
TOWA（6315）が4連騰で最高値。三菱UFJモルガン・スタンレー証券がレートイングリ「Buy」を継続、目標株価を4400円から8000円に引き上げた。先端PKG、HBM、中国関連の成長を織り込む局面はこれから。

ペルセウスがストップ高  
PPMX・T003早期認可期待  
16日、イビストとして知られ、企業価値向上に向けた提案などを行っている。

## ～決算情報～

### ステムセル研究所

## 2Q計画を上回り3割増益

### さい帯保管中期目標に向け伸びる

ステムセル研究所（7096）の24年3月期第2四半期累計の単体決算は、売上高12億1300万円（前年同期比17.1%増）、営業利益2億1500万円（同31.4%増）、最終利益1億5900万円（同45.1%増）で着地。売上高、利益とも計画を上回り過去最高を更新した。

オンライン広告とNSなどのデジタルマーケティングが相乗効果を発揮、さい帯保管サービスが中期目標の出生数に対する保管率3%に向け順調に伸び、6月にグロース市場へ上場したクオリプスの株式売却益も利益を押し上げた。

通期は売上高25億900万円（前期比20.0%増）、営業利益4億5100万円（同51.8%増）、最終利益3億円（同51.5%増）と期初予想を据え置いた。

### 日本トリム

## 2Qは38.1%営業増益

### 整水器職域販売の受注増加続く

日本トリム（6788）の24年3月期の第2四半期累計（4月～9月）決算は連結売上高で104億5200万円（前年同期比15.1%増）、営業利益16億8600万円（同38.1%増）、純利益11億9300万円（同40.8%増）となった。6月において、整水器販売事業の職域販売部門では過去最高の月間受注台数を記録した6月以降も各月前年を上回る受注を獲得。上半期のセミナー開催数がコロナ禍前の水準に回復したことに加え、昨年からの取り組んできた営業力強化の効果が表面化。

通期は売上高198億円（前期比10.3%増）、営業利益27億2000万円（同14.4%増）、純利益18億7000万円（同13.6%増）と2ケタ増収増益の従来予想を据え置いている。

### 六甲バター

## 第3四半期は8.7%増収

### 価格改定後の需要喚起に取り組む

六甲バター（2266）の23年12月期の第3四半期累計（1月～9月）決算は売上高で325億2500万円（前年同期比8.7%増）、営業利益で4000万円（同77.1%減）、純利益で5000万円（同73.0%減）となった。物価上昇などの影響から消費者の節約志向が高まる状況となっているものの、本格的な人流の回復によって主に業務用チーズ製品などの販売が増加したものの、利益面では、原材料価格の上昇などによる原価高が圧迫要因となった。

チーズ製品の価格改定後の需要喚起の対策に取り組むとともに原材料の安定調達にも注力しており、通期は売上高430億円（前期比1.9%増）、営業利益5億円（同44.6%増）、純利益3億7000万円（同68.2%増）と従来予想を据え置いた。

### 大和ハウス工業

## 2Q最高業績で通期増額

### 開発物件売却進み米住宅も順調

大和ハウス工業（1925）の24年3月期第2四半期累計の連結決算は、売上高2兆5448億2700万円（前年同期比12.5%増）、営業利益1911億6300万円（同23.6%増）と2Qとして過去最高業績を更新。通期予想について売上高を4兆9200億円から5兆200万円（前期比2.3%増）、営業利益を3800億円から3850万円（同17.3%減）に上方修正した。

物流施設を中心に開発物件売却が進み、コロナ禍で落ち込んだホテル事業が回復、米国戸建住宅も順調に推移しており、「資材価格高騰や2024年問題への対応を強める」（芳井敬一社長）として、収益性を高めることで計画を達成する構え。減益は退職給付に関連したイレギュラー要因によるもので、年間配当を135円から140円に引き上げた。



## ～ 決算情報 ～

### クオルテック

## 1Q量産化期待受注増える 通期営業益2倍予想据え置く

クオルテック（9165）は24年6月期第1四半期の単体決算は、売上高8億1200万円、営業利益4700万円、最終利益2600万円を着地した。四半期決算の計上は今期からで比較はないが、主力の信頼性評価事業はパワーサイクル試験は減少したものの、高難度、高単価の分析検査や研磨工程作業の受注が好調、微細加工事業は顧客の試作品開発の遅れで受注が伸び悩んだが、メディカル関連が回復傾向にあり、量産化が期待できる受注が増えている。その他事業では表面処理技術で基板評価の受注が好調に推移した

通期は売上高39億9900万円（前期比22.1%増）、営業利益6億1900万円（同2.0倍）、最終利益4億1400万円（同97.5%増）と期初予想を据え置いており、期末一括配当を42円（前期37円）に増配する。

### 大森屋

## 10.7%営業増益を見込む 24年9月期は新製品開発に注力

大森屋（2917）の23年9月期決算は、連結売上高で142億3900万円（前の期比0.5%増）、営業利益で3億7400万円（同32.0%減）、純利益で2億4400万円（同64.1%減）となった。原材料費、物流費、人件費をはじめとするコスト増が圧迫。新価格の定着化は進んでいるものの価格改定により販売数量が落ち込んだことにより家庭用海苔は落ち込んでいるが、ふりかけなどについては、「緑黄野菜ふりかけ・小魚ふりかけ」などが順調に推移している。

24年9月期は生産活動の効率化やコスト削減を強力に推し進め、新製品の開発に注力、売上高149億円（前期比4.6%増）、営業利益4億1500万円（同10.7%増）、純利益2億6000万円（同6.3%増）と増収増益を見込んでいる。

## 購読会員募集中！

<https://marketpress.jp/subscribe/>

株式市場新聞では、購読会員を募集しています。

短期値幅取り候補銘柄！！



【正直じいさんの株で大判小判】でお馴染み!!  
花咲 翁氏が独自の分析で値幅取り候補銘柄を紹介。

株式市場新聞

[www.marketpress.jp](http://www.marketpress.jp)

潮流

# 上昇際立つ半導体株

## 外人投資家の買いで急騰



11月14日に発表された10月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想

を下回ったのを受けて、米長期金利が低下し、日米共にハイテク株を中心に買いが急拡大した。米金利先物の値動きから米金融政策を予想する「フェドウォッチ」では12月の25bp(ベーシスポイント、0.01%)利上げ織り込みが前日の14.5%から0.2%程度まで低下した。利下げ開始時期は前倒しされ、来年5月の会合で現水準を25bp下回る見通しが優勢となった。

米長期金利は一時、前日比0.21%低い4.43%を付け、ハイテク株への買いに拍車がかかった。また、2023年7～9月期決算が想定外に堅調だ。10日時点でS&P500種株価指数の構成銘柄の92%が決算発表し、1株利益(EPS)が市場予想を上回ったのが81%で過去10年平均(74%)を上回った。7～9月期は前年同期比0.3%の減益が見込まれていたが、4.1%の増益予想に転じた。

先行きについては10～12月期は前年同期比3.2%増益と伸びが鈍化するが、24年1～3月期から同4～6月期へと増益率が拡大していく見込みだ。牽引役となるのがハイテクセクターで24年1～3月期は通信サービスが19.9%、一般消費財が16.5%、IT(情報



技術)が15.2%の増益が見込まれている。企業ベースではエヌビディア、アマゾン・ド

ット・コム、メタ・プラットフォームズ(フェイスブック)、アルファベット(グーグル)、マイクロソフト、アップルといった米国を代表するハイテク企業だ。

日本もハイテク、特に半導体株の上昇が際立っている。

13日から16日まで日経平均の上昇率が+2.6%であるのに対して、アドバンテスト(6857)が+11.1%、ディスコ(6146)が+10.8%、東京エレクトロン(8035)が+8.6%、レーザーテック(6920)が+6.1%、コクサイエレクトリック(6525)が+11.9%も上昇した。

日本株が急騰した背景は外国人投資家の買いだ。11月第2週(6～10日)の先物の投資部門別売買動向(日経平均先物、TOPIX先物、ミニ日経平均先物、ミニTOPIX先物の合計)によると、外国人投資家は1兆358億円の買い越しだ。3月第2週(1兆1699億円)以来、8カ月ぶりの大きさだ。現物株との合算では1兆1142億円の買い越しである。

潮流銘柄は日本マイクロニクス(6871)、プラスアルファ・コンサルティング(4071)、朝日インテック(7747)。



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール  
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

買越し8カ月ぶりの大きさ



# 家と人生の プロがいる。

相続、介護、転職など人生の転機は、住まいの転機です。

そんなとき、大和ハウスは住まいのプロとしてはもちろん、  
1人1人の人生、1つ1つの家族の人生にまで  
寄り添えるプロでありたい。

お客様が住まいと接点をお持ちになったところから  
長く一緒に歩んでいきます。

人・街・暮らしの  
価値共創グループ  
だからこそその総合力

創業60年。180万戸を  
超える供給実績と、  
幅広い提案。

多分野の  
専門家による  
360° チームケア

税理士・司法書士など  
多くの分野の専門家と  
連携。

エンドレス  
サポート

お客さまを最もよく知る  
パートナーとして  
末長くそばに。



住みかえは大和ハウスグループで

# Livness

[リブネス]

大和ハウス工業株式会社 大和ハウスリアルエステート株式会社 大和ハウスリフォーム株式会社 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社 株式会社コスモスインシア 大和リビングマネジメント株式会社 大和ライフネクスト株式会社 株式会社デザインアーク



大和ハウス工業株式会社〈不動産ストック事業〉  
www.daiwahouse.co.jp

0120-413-109 リブネス 検索

東京本社 リブネス事業推進部  
東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112  
Tel 03-5214-2424

本社 リブネス事業推進部  
大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241  
Tel 06-6225-7838





★  
AIも結局はそれを  
使う人間次第  
というのだ。



人が言った言葉だと信じる国民がいるだろう。素人が簡単にAIでフェイク動画が作れてしまう時代になったことに技術の進歩に驚きを隠せないが、株式市場においてもパウエルFRB議長のフェイク動画でマーケットが大荒れになる、なんてことも先行きあるかも知れない。

一方、ポジティブな部分では、ビートルズのオリジナルメンバー4人が揃った最後の新曲「Now and Then」が公開されたこと。ピアノの音にかき消されていたジョン・レノンの歌声がよみがえったのは、AIが進化したおかげだろう。なので、このようにすることでAIが活躍するのが良いことだとはおもおう。万能なAIも結局はそれを  
使う人間次第というのだ。

## 星野三太郎の 株街往来

～AIを使うのは人間次第～

この数週間はAIに絡む話題が目についた。ネガティブな部分では「25歳無職」氏が作成した岸田首相のAIフェイク動画。文字にも出来ないような表現を岸田首相が連発している内容で、誰が見てもフェイク動画と気付くが、これが増税とが現実的な話題でもしフェイク動画が作成されると本

この数週



## New product

### ◆ダイニング◆ クリスマスハイティーセット

chano-ma 秋葉原で期間限定



クリスマスハイティーセット 秋葉原 (チャノマ アキハバラ)では、12月12日から12月25日までの期間限定で「クリスマスハイティーセット」を展開する。

通常メニューでも人気のローストビーフを筆頭に、肉、魚、野菜と彩りも華やかに盛り合わせたオードブル、好きな1種を選べるセイボリーには、寒い冬には特に嬉しいアツアツの「ドリア」「グラタン」「アヒージョ」の3種を用意。さらにローストチキンが、クリスマスらしい華を添える。甘酸っぱいベリーたちを使用したスイーツは甘さ控えめに仕立てている。

### ◆キリンビール◆ 麒麟百年 和柑橘サワー

ビール酵母でレモン果汁を発酵



麒麟百年 和柑橘サワー

キリンホールディングス(2503)グループのキリンビールは、「麒麟百年」ブランドから、「麒麟百年 和柑橘サワー (期間限定)」(350ml缶・500ml缶)を11月28日から全国発売する。

今回発売する「麒麟百年 和柑橘サワー」は、キリングループの強みである発酵技術を生かして、ビール酵母で発酵させたレモン果汁を一部使用し、ゆずをメインとした和柑橘の爽やかな香りと芳醇なうまみ、なめらかな口当たりのお酒としての満足感と飲みやすさを両立した本格サワー。ゆずをメインとした、すだち、かぼすの和柑橘の香りと苦みの効いた果汁感に、ビール酵母で発酵させたレモン果汁を合わせ、爽やかで心地よい複雑味を加えることで、芳醇で飽きのこない味わいに仕上げている。

# 記者の視点 相場見通し

## FOMC議事録を注視

### 堅調な動きも押し目買い

11月第3週の東京市場は米10月雇用統計の内容を受けて急伸した先週末までの地合いを引き継ぎ強い動きとなり、日経平均では6月19日に付けた年初来高値3万3772円89銭が射撃圏内入ってきた。

米国の経済指標については10月雇用統計に続いて10月米消費者物価指数(CPI)の上昇率も市場予想を下回ったことで、インフレピークアウトからFRBによる利上げ打ち止め期待が高まっている。これに加えて米国では「つなぎ予算」が今週7日に失効するのを前に議会で来年1月から2月まで確保する新たな「つなぎ予算」案を14日に可決したこともリスクオンの動きに拍車をかけている。需給面では、今月6日から先物の証拠金計算方式がこれまでのSPAN方式からVAR方式に変更された。これによりSPAN方式とは異なり証拠金が2倍、3倍も急増する場合があります。ポジション調整による反対売買も指数の上昇に拍車をかける一因になつたと思われ。

タカ派的な内容ならこれまでの樂觀論が後退し、金利上昇から株安に反応する可能性がある。決算では21日にエヌビディアやベストバイ、HPなど。エヌビディアの内容次第ではレーザージャケット(6920)や東京エレクトロン(8035)など日本の半導体関連株に影響をもたらそう。23日は感謝祭でニューヨーク市場は休場となり、翌日の4日がブラックフライデーで年末商戦が本格化する。国内でも23日は勤労感謝の日で休場となり、ポジションを一方方向に傾け難い。全般は堅調な動きを想定するが、押し目買いスタンスを貫きたい。

急に気温が下がったせいで妙に肌寒く、夏からいきなり冬になったような錯覚に陥ってしまったが、今年には暖冬で寒くても平年並み、あるいは高い状況が続いているらしい。エルニーニョと正のインド洋ダイポールモード現象の影響で、偏西風が蛇行して日本付近では北を流れ、寒気の南下が弱まるからだという。寒気が弱いと低気圧が通りやすく、降水量は平年並みか多くなるそう。東京市場は半導体関連が活気付き、個別で値幅を狙いやすくなってきた。

### 編集後記



録の予定内容が  
いる。の議事  
録のM公表が  
OのC議事  
日開催のF  
11月1日  
11月2日  
11月3日  
今週は2  
われる。

### 今週のスケジュール

- ・20日 中国ローンプライムレート
- ・21日 米10月中古住宅販売件数  
10月30日・11月1日開催のFOMC議事録
- ・23日 休場:日(勤労感謝の日)  
休場:米(感謝祭)
- ・24日 10月消費者物価  
10月全国百貨店売上高
- ・27日 10月企業向けサービス価格指数  
米10月新築住宅販売件数
- ・28日 米11月CB消費者信頼感指数
- ・29日 ベージュブック(米地区連銀経済報告)
- ・30日 10月商業動態統計、10月鉱工業生産  
11月消費動向調査  
中国11月コンジットPMI、中国11月製造業PMI、中国11月非製造業PMI  
インド7-9月期GDP  
米10月個人所得・個人支出
- ・1日 10月失業率・有効求人倍率  
7-9月期法人企業統計  
中国11月Caixin 製造業PMI  
米11月ISM製造業景況指数

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。